



## 医療法人尽誠会 山近記念総合病院

〒256-0815 神奈川県小田原市小八幡3-19-14  
電話.0465(47)7151 Fax.0465(47)8178  
URL <https://www.yamachika-hp.jp/>

### 新型コロナウイルスとの闘い —当院の取り組み—

理事長 杉田輝地

今回、世界中が新型コロナウイルスの猛威にさらされ、あちこちでパニックが起きました。日本は諸外国に比べ発生頻度、死亡率ともに低いとはいえ、外出自粛：3密禁止等で抑制された生活となり、非日常に戸惑われたことと思います。病院は、在宅での仕事が全くできない業種であり、すべての職員が薄氷を踏む思いで業務に当たっていました。緊張の中にも笑顔を忘れず頑張ってくれたおかげで、院内感染を生ずることなく今があることを感謝しております。

そもそも新型コロナウイルスの名前が示すように、今まで存在しなかったウイルスが昨年11月中国武漢で発生し、瞬く間に武漢から中国国内に、さらには中国人訪日客から日本人へと広がりました。存在しなかっただけにすべてが謎で始まったので、いろいろな情報が錯綜し、一層恐怖をあおる結果となりました。

そんな中での当院の対応について報告したいと思います。1月16日の1例目が日本での始まりでした。2月3日にダイヤモンドプリンセスが横浜港に入港し、このウイルスは閉鎖空間の密のなかで一気に広がると証明されました。

当院は2月26日に院内感染対策委員会を開催し、コロナウイルス対策について議論しました。1. 外来での熱患者様に対応する「発熱外来」の整備。2. 患者様、職員にマスク着用の通知と徹底。3. 職員の日々の検温と37.5℃以上の自宅待機のルール策定。4. 入院患者様への面会の制限。などについて検討し、職員に徹底し、患者様へも通知しました。発熱外来開始とともに一般患者様と導線を可能な限り分けられたので、必要なPCR検査も行うことにしました。現在まで発熱外来の受診者は270名で、PCR検査は30件行い、すべて陰性でしたが1例は偽陰性でありました。この偽陰性の方は通院のなかでやはり強く疑う所見があり、重点医療機関協力病院への入院をお願いしましたが、なかなか了解を得られず大変苦労しました。最終的には陽性と判明しました。このような疑い患者（疑似患者）様が入院する重点医療機関協力病院の設定がこの地域では正式に決まることがありま

せんでした。当然多額の市税が投入されている基幹病院の市立病院が感染対策を整えて、協力病院として表明されると思いましたが、そうはならず疑似患者様の対応が課題となりました。

3月6日からは、症状に変わりのない患者様に電話での処方箋の発行業務を開始しました。大流行の兆しが見えてきた4月6日から入院患者への面会を全面禁止といたしました。癌患者様が多く、手術患者様を含め、この面会禁止は多くの患者様や家族に不安を与えることになり、申し訳なく思っています。

当院では疑似患者の発生時に備え、個室の確保と感染ゾーンの設定での予行演習を行っていました。4月25日に疑似患者が発生しましたが、どこも受け皿となる病院がありませんでした。疑似患者様の入院で予想以上に大きな混乱を生じ、当院のような小規模病院ではとても対応できないと考え、夜間の発熱患者様への対応をかかりつけ以外はお断りすることになりました。そんな時の4月末に、協力医療機関として働いてほしいと期待していた市立病院での院内感染が発生し、コロナウイルスに対する小田原の医療は崩壊しました。特に夜間と休日の救急発熱患者様の対応に大きな混乱が生じました。異常な事態が発生すると予想されるときに、それに対しての医療体制をきちんと構築するのは、保健所（県）なのか、市なのか、医師会なのか、残念ながらどこもリーダーシップをとれなかったのが最大の問題でした。ただ幸運なことは、5月中旬からは濃厚接触者の感染は数件あるも市中感染は生じていないことであります。当院でも外来・入院ともに患者様の著しい減少が続いており、回復にはまだまだ時間が必要と思います。

第2波の流行が騒がれていますが、その時はここ西湘地域にきちんとしたコロナウイルスへの医療体制を構築しておくことが必要であり、強く望まれています。当院は地域に根ざした急性期病院の使命と役割を認識し、一層努力する所存であります。しかし今回のような混乱と苦労は二度と経験したくないと思っています。

2020.7.1記

## 看護部紹介

Vol.12



第2病棟師長 大庭 香代子

今回は第2病棟を紹介します。

『Cure(キュア)からCare(ケア)』という言葉聞いたことはありますか?医学が進歩し長寿社会になった今、医療だけでなく介護や福祉、地域において、関係する施設が相互の協力体制を作り、生活の質・生きる時間の質を高めていく事です。

第2病棟は高齢者、単独世帯、認知機能低下の患者様が多く、社会復帰の支援や再発防止、日常生活の再獲得に向け日々看護をしています。そのため、入院当初から看護師がコーディネーターとなり、医師や薬剤師、さまざまな技師等との多職種チームを作り、退院に向けての支援を立ち上げています。これからも「ワンチーム」となって、患者様を支えていかれるよう頑張ります。



## 「病院機能評価」の更新が認定されました

山近記念総合病院では平成12年2月に公益財団法人日本医療機能評価機構が実施しています「病院機能評価」を取得しており、過去3回にわたり5年毎の更新審査を無事認定されてきました。今年1月、4回目の更新審査(当院は一般病院1:3rdG:Ver.2.0)を無事に受けることができ、再認定の結果をいただきました。

病院機能評価とは、第三者機関である日本機能評価機構により、「国民の医療に対する信頼の向上と病院の質の向上」を目的として実施しているものです。病院の各種機能を客観的にチェックし、すべての評価項目について一定水準以上であると認められた場合に認定されます。2020年6月5日現在で、全国約8,400病院のうち当院を含めて2,160病院が認定されています。

- 評価項目
- 第1領域：患者中心の医療の推進
  - 第2領域：良質な医療の実践1（主に診療・ケアの実践）
  - 第3領域：良質な医療の実践2（主に各部門の機能評価）
  - 第4領域：理念達成に向けた病院組織の運営

上記4領域について、2日間にわたり書類審査・面接審査・ケアプロセス審査など、多職種に及ぶ審査が行われ、認定の更新をすることができました。当院では今回の更新に満足することなく、第三者評価で優れていると評価された点についてはよりその先をめざし、ご指摘を受けた課題については1つ1つ改善していき、患者様へ最善の医療が提供できるよう職員一丸となって努力してまいります。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、このために1年かけて大変な苦勞をして準備していただきました、全職員に感謝の意を表します。

病院機能改善委員会 委員長 山近大輔

## 特定健康診査の受診を希望される方へ

当院では、特定健康診査の受診を予約制とさせていただいております。10月・11月・3月は大変混み合うため、できるだけ早めにご予約の上、受診いただきますようご協力をお願い致します。また、受診当日は各受付窓口で待ち時間をいただいております。受診される方には朝食を抜いて9時30分までのご来院をお願いしておりますが、検査後診察までに時間がかかる場合は、一旦外出していただくこともできますので、各受付窓口へお声かけください。ご予約など、特定健康診査に関するお問い合わせはクリニック総合受付、またはお電話(0465-47-2131)にて承ります。電話対応は14時～16時30分とさせていただきます。

## 転倒予防体操



ぐるぐる

60歳代後半から80歳代後半までに転倒率が増加する傾向にあります。転倒することにより、骨折や転倒に対しての恐怖心もあり、日常生活動作が低下することがあります。転倒はどういった原因で起こりやすくなるのでしょうか?

主な原因として筋力の低下、柔軟性の低下、感覚の低下などが考えられます。

今回は上記3つの能力低下の中から、柔軟性の低下を防止するための体操をご紹介します。

- 足関節の運動(柔軟性の向上) ※足の組めない方は、下ろしたままで構いません。椅子に座って、足首をぐるぐる回します(左右10回ずつ)。

診察室を訪ねて⑭

循環器内科



たにうちまさ と  
**谷内 雅人 医師**  
日本心血管インターベンション  
治療学会認定専門医



たか ま たく ろう  
**高間 拓郎 医師**  
日本循環器学会専門医  
日本心血管インターベンション  
治療学会認定医  
総合内科専門医

当院の循環器内科は、常勤2名、非常勤2名で診療を行っています。診療する主な疾患は、1. 虚血性心疾患 2. 心不全 3. 弁膜症 4. 不整脈 5. 肺塞栓症があげられます。

まず虚血性心疾患については、急性期の心筋梗塞、不安定狭心症、労作性狭心症、冠攣縮狭心症、外来レベルで様々な原因で認められる虚血性心疾患を正確に判断できる様に、病歴、64列冠動脈CT、心臓超音波、心電図等で早期に発見し冠動脈造影を施行します。冠動脈造影は、経橈骨アプローチが主体で低侵襲を心掛け、血液データによって、造影剤量を最小限にすることも可能で、造影剤のアレルギー等の予防も含め細心の注意で試行しております。さらに状況で経皮的冠動脈ステント留置術の施行、免疫抑制剤がコーティングされた、コバルト合金主体で重さにして1円玉の30分の1以下の網の目状の軽量の金属を、冠動脈の狭小化した部分に留置して、バルーンにて確実に拡張します。狭窄部位の評価には、目視のみならず、冠動脈内超音波や冠血流ワイヤーを適宜使用し治療します。冠動脈造影は、年間500例前後、経皮的冠動脈ステント留置術は、年間200例前後、64列MDCTは、年間600例前後です。

心不全は現象をあらわす言葉で、その原因は非常に多く、主に高血圧のミスマッチ、虚血を含む心筋疾患、弁膜症、不整脈、腎疾患、肺塞栓等多彩です。高血圧、心筋疾患の多くは、現時点で血液データ、心機能、腎機能にあわせ薬剤を選択し、コントロールします。前述の経皮的冠動脈ステント留置での対応もあり得ます。

弁膜症については、僧帽弁、大動脈弁の閉鎖不全、狭窄症等が中心で、薬剤にて心負荷が軽減された時期に、年齢、ADLを考慮して手術の可否を決めます。

不整脈は主に薬剤の内服にてコントロールしますが、徐脈性不整脈でペースメーカーの留置が必要な場合は、左右どちらかの鎖骨の下からペースメーカーを留置致します。当院のペースメーカー留置数は年間15例前後です。高血圧等から、腎臓機能が低下し心不全が改善しない場合は、適宜人工透析を1次的ではありますが導入し、心不全の改善を認める方もおり、年間40例前後試行しております。

通常認められる心不全とはメカニズムが違う、下肢の静脈血栓等による肺塞栓も近年増加しており、血栓溶解療法中心で治療し、予防的に内頸静脈より着脱可能な下大静脈フィルターを留置しております。生活習慣、ストレス等増加により循環器領域の患者様は増加傾向で、最新の知見を得て診療にあたらせていただいております。

新任医師紹介

NEW FACE



まちだ たかし  
**町田 隆志 医師** …… 東京都出身。2006年（平成18年）東海大卒。

研修医も東海大。その後、東海大消化器外科に入局し、伊勢原、大磯、八王子と附属病院で勤務。その間も週に1回当クリニックで外来をしておりました。大学では内視鏡治療、腹腔鏡手術、抗癌剤治療と、主に癌診療に従事。内痔核、鼠径ヘルニア等の良性疾患も多数扱っています。今後も癌診療、良性疾患診療を頑張ります。因みに、山近医師は研修医時代の指導担当医でした。



しおみ たつ や  
**塩味 達也 医師** …… 埼玉医大卒。

初期研修終了後、2年間は大学病院にて重症皮膚疾患を中心に、1年間はがんセンターにて皮膚疾患を、残り2年は市中病院にて一般皮膚科を幅広く診療して参りました。生まれも育ちも埼玉県ですが、この度家族で神奈川県へ転居して参りました。

患者さんの立場に立った医療を心がけてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



ふじのりか  
**藤野 里夏 医師**

平成29年卒。東海大学を卒業し、初期研修も東海大学で行いました。平成31年に同大学消化器外科に入局しました。大学に所属しているため1年間の勤務となります。丁寧な診療を心がけて参りますのでよろしくお願いたします。



たかみ じゅん  
**高見 淳 医師**

4月から研修医として入職いたしました。手技、接遇、その他至らぬ点が多々あると思いますが、一人前の医療者になるべく精進していく所存です。東京都出身。東京大学卒業。

### ★山近記念総合病院の基本理念★ 広く市民に対して科学的かつ適正な医療を提供する

- ◇ 行動指針 ◇
1. 私達は科学的で適正な医療を提供する為に、それぞれの分野で最高の技量と能力を得る努力をし、それを医療の場で実践します。
  2. 私達は、これらの実践にあたり常に患者さんの権利を尊重し、説明と同意に基づいた医療を基本とします。
  3. 私達は、親切・笑顔・挨拶をモットーに気配りの行き届いた心暖まる病院づくりに努力します。

## トピック 10月の第3日曜日に乳がん検診を受けましょう！

当院のJMS(ジャパンマンモグラフィーサンデー)への取り組みも今年で5年目になりました。ピンクリボン運動の一環として、日本全国の登録病院で毎年10月の第3日曜日に乳がん検診が受けられるという企画です。日程は下記の通りです。是非、ご受診ください。

日 程	10月18日(日) 完全予約制(先着順) 定員20名
お申込み	山近記念クリニック受付 もしくは電話 0465-47-2131
検査内容	診察・マンモグラフィー・超音波
料 金	10,500円(税別)



### ～みなさんも作ってみませんか？～

ポン酢をジュレにして、ビタミンB1たっぷりの豚肉と一緒に普段と違った食感をお楽しみ下さい。季節の野菜を付け合わせに！



### 冷しゃぶのポン酢ジュレ

材料(1人分)	豚ロースしゃぶしゃぶ用 ……75g	ジュレ用調味料
216kcal	キャベツ ……20g	しょうゆ ……8g
塩分1.3g	オクラ ……1本(10g)	酢 ……8g
	ミニトマト ……1個(20g)	砂糖 ……8g
	黄ピーマン ……8g	だし ……8g
	赤ピーマン ……8g	ゆず果汁 ……0.5g
	大豆もやし ……15g	ゼラチン ……0.8g

- ① ジュレ用調味を混ぜ合わせ、火にかけて温める。
- ② ①にゼラチンを加え、バットに流し込み冷やす。固まったら崩す。
- ③ 豚肉を茹でる。ミニトマト以外の野菜を茹でる。
- ④ 茹でた豚肉に野菜を添え、ポン酢ジュレをかける。

### 簡単！健康レシピ紹介

Vol.8



困ったことが  
ありましたら  
ご相談ください

入院中の患者様の介護保険サービスを利用した自宅への退院調整、他院への転院や施設への入所の支援、また入院・外来患者様の療養生活に関する事など、患者様やご家族からのご相談をお受けしています。ご希望の方は医療連携室 退院支援管理者(看護師)岩本(内線795) 医療相談員 小峯(内線786)へお問い合わせください。(場所:病院1階)